

令和4年10月21日（金）
10月31日（月）



学校運営協議会委員・学校・地域 コーディネーター・教職員合同研修



教育委員会事務局

学校支援・地域連携課

〔第 1 部〕

事務局説明

元となる根拠

○学習指導要領

- ・社会に開かれた教育課程の実現

○横浜教育ビジョン2030

○横浜市教育振興基本計画

横浜教育ビジョン2030

【横浜の教育が目指す人づくり】

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

【横浜の教育が育む力】

知

生きて
はたらく知

徳

豊かな心

体

健やかな体

公

公共心と
社会参画

開

未来を
開く志

【横浜の教育の方向性】

①子どもの可能性を広げます

②魅力ある学校をつくります

③豊かな教育環境を整えます

④社会全体で子どもを育みます

教育活動には次のことを関連付けることが必要

- 学校教育目標
- 子どもたちの資質・能力を教育課程で育成する
- 小中学校9年間で子どもたちを育む



- 地域と学校の連携・協働は単なるボランティアの活動や地域行事への参加ではない

地域と学校の連携・協働は、なぜ必要？

- 子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は、複雑化多様化している。
- 子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総がかりでの教育の実現が不可欠である。

いじめ、不登校
児童虐待、貧困問題
SNSトラブル

コロナ過
GIGAスクール構想
働き方改革
ヤングケアラー

学校課題に伴う教職員の
勤務負担



地域と学校で、困難や課題を
乗り越えていくことが重要。

学校教育目標や学校のビジョンを共有して 一体となって子どもを育てることが大切

学校運営協議会は、地域・保護者の皆さんと学校が目標を共有し、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みです。この仕組みを持つ学校を「**コミュニティ・スクール**」と言います。

地域学校協働本部は、既存の地域と学校の連携体制をもとにして、**地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター)**が中心となって緩やかなネットワークを形成し、より多くの幅広い地域の皆さんや団体等の参画によって地域学校協働活動を推進する体制です。



学校運営協議会
地域学校協働活動
地域学校協働本部



- ・情報共有
- ・熟議
- ・課題
- ・目標共有

学校と地域が連携・協働することで地域の様々な宝物(人・もの・環境)を子どもたちの学び、育ちに活かすことができます



学校と地域の
架け橋

地域学校協働活動推進員
(学校・地域コーディネーター)

区役所

民間企業

大学

保護者

地域住民

NPO

学校運営協議会は
学校にどのように関わっていくのですか？
学校運営協議会は学校と対等の立場で、
共有した目標に向けた熟議を行います。

地域学校協働活動推進員
(学校・地域コーディネーター)とは？
学校と地域の架け橋となる方で、地域
や学校の状況に応じて、地域と学校が協
働できる仕組みづくりを進める役割を担

地域と学校で、子どもたちの
豊かな成長を支えていく

学校運営協議会と地域学校協働活動

学校運営協議会

- 学校運営の基本方針の承認（必須）
- 学校運営に関する意見（任意）
- 教職員の任用に関する意見（任意）

学校運営について
協議

協議に基づいて
アクション

地域

学校

地域とともにある
学校運営

学校・地域CO

学校運営

地域学校協働活動

カリキュラム

児童・生徒指導

学校評価

学校の自己評価

学校関係者評価

(NPO法人まちと学校のみらい)

まぎらわしい組織・役割の整理

● 横浜市独自の事業

☆ 全国で展開されている仕組み

● 学校家庭地域連携事業(学家地連)

中学校区単位で、児童生徒の健全育成を目的にしている。

● まちとともに歩む学校づくり懇話会(まち懇)

ひらかれた学校づくりをすすめるため地域と学校が意見交換を行う場

☆ 学校支援地域本部 ⇒ 地域学校協働本部

学校の教育活動を支援し、地域コーディネーターがつなぎ役となる

☆ コミュニティ・スクール(学校運営協議会の設置されている学校)

保護者地域が一定の法的な権限を持って学校運営に参画する。

※横浜市では地域の身近な施設としてコミュニティハウスがあるが、一部コミュニティスクールという名称になっており、混同することがある。

☆ 学校評議員制度

校長の求めに応じて地域の人が意見を述べることができる。

(NPO法人まちと学校のみらい)

学校運営協議会の3つの役割

学校運営協議会を設置した学校は コミュニティスクール

- 校長が作成する学校運営の基本方針の承認
- 学校運営について校長または教育委員会に意見を述べることができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について教育委員会に意見を述べるができる

学校運営協議会とは？

- 学校と地域が連携・協働をして一体となって子どもを育てる仕組み
- 学校運営と必要な支援について協議する合議制の機関
- 学校と目標やビジョンを共有した応援団

コミュニティ・スクールという

学校運営協議会で話し合うテーマ

- 児童・生徒指導上の課題への対応
- 保護者や地域住民の参画による多様な活動の実施
- 地域連携の充実
- 学校と地域の防災体制の強化
- 防犯、交通安全の取り組み

- 校種間連携による活動の充実
(幼保小連携、小中高連携、小中特支、高大連携、)

学校と地域が課題を認識し、共通の目標やビジョンを持つ

○児童・生徒指導上の課題への対応

○保護者や地域住民の参画による多様な活動の実施

○地域連携の充実

共通の目標

○学校と地域の防災体制の強化

○防犯、交通安全の取り組み

○校種間連携による活動の充実
(幼保小連携、小中高連携、小中特支、高大連携)

地域コミュニティとテーマコミュニティでつながる

○地域コミュニティ

学校がある地域だけでなく、児童・生徒の住んでいるところや活動しているところ

○テーマコミュニティ

それぞれの学校の特色や課題解決に向けてつながる人や組織や企業等

高等学校や特別支援学校では

地域コミュニティ

テーマコミュニティ

○高等学校では・・・

- ・地域と連携した教育活動
(キャリア教育と探究学習)
- ・企業、大学との連携による専門教育への取組

○特別支援学校では・・・

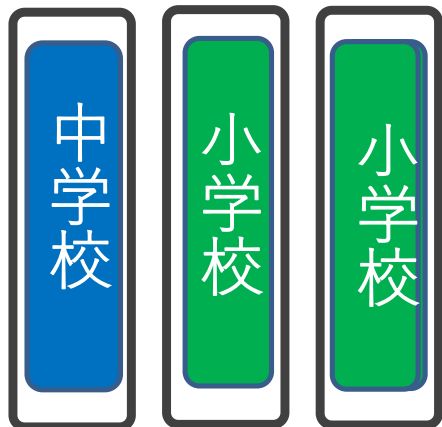
- ・地域との双方向の連携、協働による、児童生徒にとって身近な生活の場単位での学びと育みの場づくり
- ・小・中学校との交流、共同学習の充実

学校運営協議会は複数校での設置も可能

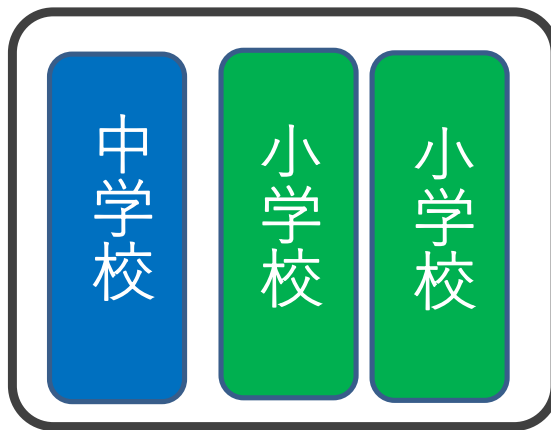
学校運営協議会の様々な形態

474校に360協議会設置
単独設置は292協議会
合同での設置は68協議会

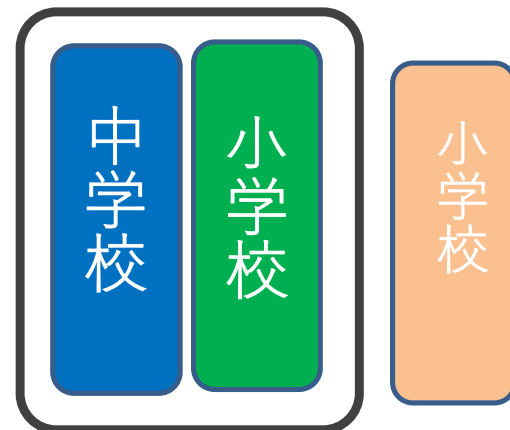
令和4年10月1日現在



単独の設置



ブロックの学校による
合同設置



ブロックの一部の
学校による合同設置

学校・地域コーディネーターの役割

学校で求める教育支援活動のねらいと、
地域の方々の得意なことを結びつける

学校を支援するボランティアをまとめる

地域と学校をつなぎ、架け橋となり
「地域学校協働活動」を推進する

学校・地域コーディネーターの役割

「学校・地域コーディネーター」とは

学校の要望

- ・ キャリア教育をしたい
- ・ 見守りボランティアを探したい

学校・地域コーディネーター

- ・ つなぐ人、地域と学校の架け橋
- ・ 学校の要望と、地域の資源を結ぶ
- ・ ボランティアをまとめる

地域の資源
ボランティア人材

持続可能な活動への発展

- × やらなければならない活動
- × やりたい活動

- 学校にニーズにあった活動
- 教育課程と関連した活動

目標やビジョンが、地域と学校で共有され、積極的な取組が展開される

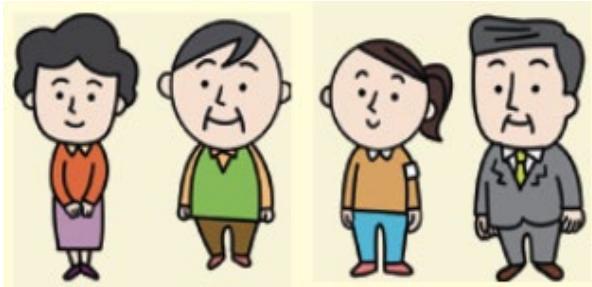
地域学校協働活動の例

学習支援

- 学習補助
- 学校行事補助

環境整備

- 花壇の整備
- 図書室の整備
- 見守り活動



安全防災活動

- 防災マップ作り
- 地域合同防災訓練

部活動指導

- 部活動の支援
- 外部指導者派遣

学校・地域コーディネーターが 学校にいることによって

○子どもの学びが深まる

- 様々な体験をすることで本物を知ることができる
- 子どもの実践力や技術力が向上する



○学校を取り巻く環境が整備される

- 安心して学校に行くことができる
- 災害時における地域のつながりが強まる



○教職員の人材育成につながる

- 教員の指導力やコミュニケーション力が向上する
- 子どもと向き合う時間が確保できる

学校・地域コーディネーターが 学校にいることによって

○組織的、継続的に活動ができる

- 管理職や担当教諭が異動しても、活動は継続する
- 地域でのつながりが深まり、継続的になる



○地域で子どもの様子がよくわかる

- 子どもが校外に出て、地域の方とふれあうことが多い
- 学校と家庭や地域が連携して子どもを見守る

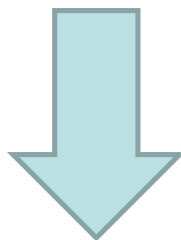
○地元の事業者や企業と学校との連携が深まる

- まち探検（小）や職業体験（中）、職業インタビュー（中）
- キャリア教育の深まりにつながる

これからの取り組みの方向性

○学校運営協議会の導入

学校・地域コーディネーターの配置促進



○学校運営協議会の質的向上

○学校地域コーディネーターの配置促進、機能強化

○学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進

理解者を増やし、質の向上を図る

〔第 2 部〕

事例発表

実践発表校

平沼小学校 平沼共育ネットワーク
地域学校協働本部として平沼共育ネットワークを立ち
上げ10年。コロナ過でも工夫しながら活動を続けて
いた事例。

平沼小学校 寺岡 徹 校長

平沼共育ネットワーク 代表
学校・地域コーディネーター 楠 恵美子 様

実践発表校

東山田中学校

学校運営協議会をH17年度に設置。学校運営協議会を横浜として一番最初に立ち上げ、地域学校協働本部と一体となって活動している学校としての事例。

東山田中学校

小林 祐樹 校長



ありがとうございました。